

令和3年度 第12号 (207号)

立ろうだより



令和4年3月1日 発行
東京都立立川ろう学校
校長 村野 一臣
〒190-0003
東京都立川市栄町1-15-7
電話042-523-1358
ファクシミリ042-523-6421



祝 合奏コンクール銅賞受賞



校長 むらの 村野 かずおみ 一臣

今年の冬はとても寒かったですが、徐々に日も長くなり春の音が聞こえています。3学期に入ってオミクロン株による感染拡大が深刻になり、臨時休校などの危機に備えた対策を進めてきました。校内では大きな感染拡大につながることはなく、授業は続けられています。保護者の皆様の日々の健康観察や予防に心をより御礼を申し上げます。今月は卒業式・修了式も実施されます。卒業生・修了生が全員揃って出席できるよう感染対策を進めていきますので、どうぞよろしくお祈りします。

さて、とても嬉しい話をしたいと思います。第33回全国聾学校合奏コンクールの二次審査の結果、小学部5年生、小学部6年生が「銅賞」を受賞しました。(一次審査通過11校)

おめでとうございます。審査の講評を一部紹介します。

○小学部6年生「生命の息吹」：演奏の出だしのイントロ部分に集中してとても頑張っていました。音色もきれいです。楽曲の演奏で楽しそうに集中し続けていました。音楽をみんなで表現する姿は感動的でした。指揮をしている先生のぐいぐい引っ張っていく力に子供が変わっていく姿に驚きました。一次審査の演奏と比べて数段良くなっています。

○小学部5年生「いのちの歌」：みんなが楽しそうに演奏しているところが素敵でした。中間部の演奏も光っていました。来年の演奏もとても楽しみです。子供たち一人一人の力が、すごく引き出される演奏でした。

6年生、5年生ともに、一人一人が意欲をもち協力して取り組んだ成果です。学習の積み重ねとともに、このような経験が子供たちの成長には欠かせないと感じています。6年生は、3月8日のバトンタッチの会で演奏をしてもらう予定です。5年生は来年も参加したいと意欲的です。4年生も含めさらに学校全体で盛り上がっていくことを願っています。保護者の皆様には直接お聞かせできないのが残念でたまりません。

次に学校評価アンケート結果について報告いたします。アンケートへの御協力ありがとうございます。別紙をお配りしていますので御覧ください。学校運営連絡協議会では、特に2点について提言を受けています。1点目は、「自ら学ぶための基礎づくり」です。「立ろう学習ルール」は定着しつつも、家庭における自主的な学習態度の育成にまだ課題があります。特に小学部高学年から中学部・高等部の子供の自我の目覚めと関連づけながら引き続き指導をする必要性を感じています。2点目は、進路の見通しや職業教育の魅力及びこれからに関する情報提供です。コロナ禍で計画したものが実施できない状況ではありましたが、進路情報の提供の仕方など各部の実態に応じてさらに工夫する必要性を感じています。その他のアンケート結果を立川学園に引き継いでいきます。今後も保護者の皆様の御意見をいただき教育の充実に努めていきますので、御協力をお願いします。